

波動分析報告書／測定値

ライフスパン研究所 NMN

2021年6月11日

株式会社 ライフスパン研究所 様

アクアタック研究室
代表 片岡 章



〒201-0004
東京都狛江市岩戸北 3-8-11-401
Tel, Fax : 03-3480-9618
e-mail : aquatack@msc.biglobe.ne.jp

検 体：ライフスパン研究所 NMN／「NMN3000 Pure」2粒と「NMN10000 Royal」2粒 を組合せたもの
測定形態：検体を測定用プレートに直接置いて測定
測 定 者：片岡 章 測 定 器：PRA-NK型(旧称:QRS) 測 定 日：2021年6月9, 10日

(S +1 = +100億)

No.	項 目	code	ライフスパン研究所 NMN	(0~100 に換算)
1	N M N (ニコチンアミド モノヌクレオチド)	B371	S +68.1	+100.0
2	N A D (ニコチンアミド アデニン ジヌクレオチド)	H741	S +67.7	+99.4
3	長 寿 遺 伝 子 (サーチュイン遺伝子)	W239	S +67.8	+99.6
4	ミ ト コ ン ド リ ア	O669	S +67.7	+99.4
5	細 胞 分 裂	C393	S +68.1	+100.0
6	若 返 り / 老 化	I655	S +68.1	+100.0
7	恒 常 性 維 持 力・免 疫 力	B222	S +67.7	+99.4
8	交 感 神 経	D140	S +67.7	+99.4
9	副 交 感 神 経	D599	S +68.1	+100.0
10	ホ ル モ ン バ ラ ン ス	C895	S +67.4	+99.0
11	生 体 防 御 力 (広 義 の 免 疫)	X247	S +68.1	+100.0
12	代 謝	H094	S +67.5	+99.1
13	血 液 循 環	F543	S +68.1	+100.0
14	抗 酸 化 作 用	A214	S +68.1	+100.0
15	脳 全 体	C583	S +67.8	+99.6
16	視 床 下 部	C840	S +67.8	+99.6
17	脳 下 垂 体	D329	S +67.9	+99.7
18	脊 髄	T631	S +67.9	+99.7
19	神 経 細 胞	D095	S +67.8	+99.6
20	血 液	C540	S +68.1	+100.0
21	肺	D996	S +67.9	+99.7
22	乳 腺	D698	S +67.8	+99.6
23	心 臓	D166	S +67.9	+99.7
24	血 管	D614	S +68.1	+100.0
25	胃	D199	S +67.8	+99.6
26	腸 管	C419	S +68.1	+100.0
27	腸 内 細 菌 叢	D325	S +67.9	+99.7
28	肝 臓	D273	S +67.7	+99.4
29	膵 臓	D302	S +67.7	+99.4
30	腎 臓	D802	S +67.7	+99.4

No.	項 目	code	ライフスパン研究所 NMN	(0~100 に換算)
31	子 宮	D449	S +67.9	+99.7
32	卵 巢	D096	S +67.6	+99.3
33	精 巢	E104	S +67.7	+99.4
34	ス ト レ ス	E222	S +68.1	+100.0
35	悪 性 腫 瘍 (が ん)	F005	S +68.1	+100.0
36	糖 尿 病	D789	S +67.8	+99.6
37	ア レ ル ギ ー	G383	S +67.6	+99.3
38	鬱 (う つ) 病	D859	S +67.9	+99.7
39	認 知 症	D654	S +67.8	+99.6
40	パ ー キ ン ソ ン 病	I030	S +67.7	+99.4
41	脳 梗 塞	A026	S +67.8	+99.6
42	狭 心 症	E071	S +67.9	+99.7
43	心 筋 梗 塞	D557	S +67.8	+99.6
44	動 脈 硬 化	F244	S +67.7	+99.4
45	高 血 圧	D520	S +67.7	+99.4
46	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	F919	S +68.1	+100.0
47	肌 の 潤 い	A423	S +68.1	+100.0
48	外 傷 の 再 生	E400	S +68.1	+100.0
49	骨 粗 鬆 症	D590	S +67.7	+99.4
50	炎 症 性 リ ウ マ チ	J031	S +67.8	+99.6
51	ウ イ ル ス	F121	S +68.1	+100.0
52	電 磁 波 障 害	M635	S +67.9	+99.7
	最 大 値		S +68.1	+100.0
	平 均 値		S +67.9	+99.7
	最 小 値		S +67.4	+99.0
* これまでに測定されている最も高い数値は S +68.1 です。				

- ☆ 上記の平均値は、数値表記の性質上、通常とは一部異なる計算法により算出されております。
また、誤差の切上げ(切下げ)により、見かけ上、最大値(最小値)と同値になることもあります。
- ☆ 波動値は、どの項目も、プラスの方が、望ましい意味になります。
- ☆ 波動値の高低が示すのは、その物品のエネルギー状態や作用の仕方であって、単なる優劣ではありません。
- ◎ 当波動測定は、現行の科学の範疇に属するものではありません。
また、医学的・薬学的な効能を保証するものでもありません。
- ◎ 上記の理由から、当報告書につきましては、
通常の化学分析・成分分析のような扱い(パッケージへの表示など)ではなく、
ひとつの試みによる資料としてご利用くださいますよう、お願いしております。
その範囲・スタンスであれば、印刷物・ネット情報として公表していただいて構いません。

ライフスパン研究所 NMN の波動

波動研究の第一人者の片岡章さんにお話をお伺いします。

片岡さんは、アクアタック研究室の代表で約30年間に亘り、波動について様々な角度から研究をされて来られた方です。

今回、ライフスパン研究所NMNの波動分析をお願いしました。その結果、これまでの測定で最も高い数値 $S +68.1$ が16項目で測定され、「波動が高いので、高い効果が期待できます。さらに数値間のばらつきが小さいので、安心してきる製品です。」と高評価をいただきました。

そこで片岡さんにお話をお伺いしました。

アクアタック研究室
片岡 章

ライフスパン研究所 NMN の波動測定をさせていただきました。
で、結果は？ それをお話させていただくのですが、

その前に ——

「そもそも、波動ってなに？」「怪しい」「わけがわからん！」… そんな方も多いでしょう。なにしろ目に見えませんか。

そこで、とりあえず波動のイメージだけでもつかんでいただこうと思います。

いまはしっかり科学の仲間入りをしている“ウイルス”や“電磁波”、それらも、200年前に口にしようものなら、白い目で見られたはず。それどころか、命さえ…。

波動だって、いまでこそ「知る人ぞ知る」ですが、やがては常識になるかもしれません。

うまくすれば未来の先取り、塀の隙間からそ~っとのぞく感じでもいいですから、まずはおつきあください。

もちろん、すでにお分かりの方は、3ページの〈ライフスパン研究所 NMN の波動値は？〉へ飛んでいただいて結構です。

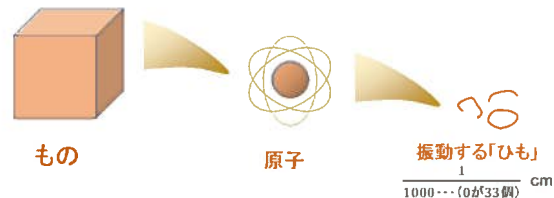
“波動”ってどんなもの？

音も電波も、振動して伝わる波はみな「波動」なのですが、ここでいうのは、「生命力」「氣」「オーラ」などです。これくらいは、きっとイメージされていることでしょう。

でも、漠然としていますし、怪しいですね。もう少し納得できそうな例をあげてみましょうか。磁石。

学校でやりませんでしたか？ 置いた磁石の上に紙を載せ、そこに鉄粉を撒く。

すると、鉄粉は模様を描きます。これは、鉄粉の背後に磁場（これも波動）があるためです。見えない磁場が、鉄粉のおかげで“見える化”したのです。



ひとのからだも、こんな原理で成り立っているのではないのでしょうか。内臓や細胞の背後にも磁場のようなのがあって、それを「生命力」とか「氣」とか呼んでいる、それが“波動”なのだ。

さらにこれは、人間や動植物にかぎったことではありません。“物”もおなじなのです。水、サプリメント、テーブル、金属 …。

最先端の物理学に“量子力学”というのがあるのはご存知でしょう。物質の究極の、ものすご〜〜〜く小さい世界を探求する学問ですが、この量子力学の“^{スーパー}弦理論”によりますと、物質も結局は振動なのだそうです。カチカチの鉄骨も、頑固おやじの石頭も、みんな振動しているのです。

もっとも、 10^{-33} cm、つまり「1000…000（ゼロが33個）分の1 cm」という世界ですから、「振動？ アホな！」と思いたくなるのも無理はありませんが。

そんなわけで、すべては“波動”ですから、とても身近であたりまえのもの。神がかった話なんかではないのです。

だからこそ大事。波動測定をする意味も、そこにあります。

波動測定の話



オペレーター
測定者が測定します。

ここまで来ましたら、そろそろ測定のお話に移ってもいいでしょうね。塀の陰から顔だけ出した方も何人かおられるようですし。

サプリメントを例にご説明しますが、波動測定器というものがあって、そこに、測りたいサプリメント(今回の NMN など)を置き、

測定結果は、数値として出ます。測定器や測定者によって数値表現は様々ですが、アクアタック研究室の場合は、S +65.7 などと表します。

この“S”というのが分かりにくいかもしれませんが、実は、“S”のつかない、単なる +43 とか +570 とかいうのもあって、それが +100 億になったら、S +1 と読み替えているのです。

気が遠くなりそうですか？ でも心配いりません。みなさん、100cm を 1m と読み替えますね。その要領でいいんです。

その際、ひとつご留意いただきたいのは、「波動値はすべて、高い方が、良い意味になる」ということです。

ですから、[ストレス] [糖尿病] という項目も、[ストレス (の波動を解消する力)] [糖尿病 (の波動を解消する力)] と解釈していただきたいのです。

ライフスパン研究所 NMN の波動値は？

では本題です。

ライフスパン研究所 NMN の波動値は、平均が S+67.9、最小でも S +67.4 でした。52項目を調べてもなお、これより低い数値がなかったのですから、なかなか出会えないほどの高さです。

どれくらい高いかと申しますと ——

NMNは、こちらで「A群 サプリメント」と呼んでいるグループに該当するのですが、これは、自然食品店などで扱われている本格サプリメントのことです。

そして、このA群自体、すでに波動の高い強者^{つわもの}ぞろいなのですが、そのなかでも、平均値が \$ +67.9\$ になるのは3%くらい。プロスポーツでいいますと、大谷翔平選手や井上尚弥選手のクラスでしょうか。

当然、スーパーやドラッグストアでは、まずお目にかかれませんが。アマチュア選手のなかで大谷・井上レベルの人を探すようなものです。

これで、**ライフスパン研究所 NMN** は波動が高い、ということがわかりました。でも、波動が高いって、どういうこと？

それは、^{たんてき}端的にいえば、「自然の理にかなっている」ということではないでしょうか。

“自然”の波動は、本来とても高いものにちがいません。これほどの、精妙にして強靱^{きょうじん}なシステムをつくりあげているのですから。

そうしますと、波動の高いサプリメントは、その自然の高い波動と同調して、自然の理にかなった働きをする、と考えるのが筋です。

ですから、**ライフスパン研究所 NMN** が実現しようとしているアンチエイジングも、自然の理にかなったもの、ということになります。

つまり、興奮剤を注入して無理やり長生きさせるのではなく、本来生きるべき寿命を生きていただく、という調和的な働き方を志向しているのです。この調和こそ、やさしくして最強です。

ただ、ひとつ、お気をつけください。

波動というのは、製造者はもとより、販売者、ユーザー、それぞれの段階で、関わる人の影響を受けます。物質成分は変わりませんが、波動は変わるのです。

ですから、このNMNを金儲けや長生き自慢（つまり欲）の道具にしてしまうと、せっかくの高い波動も崩れかねません。

やはり、“自然の理にかなった”つきあい方、“尊重して大切に”扱い方をさせていただきたいと思います。

まあとにかく、いずれも高い数値ですから、[NMN] [若返り]をはじめ、内臓の波動についても、疾患の波動についても、よい働きが期待できます。

なので、長寿や若返りに留まらず、「全体をよくしてくれる」と考えて差し支えないのですが、もうひとつ、違ったタイプの特徴（特長）も見られますので、最後に付記させていただきます。

それは、自律神経の「交感神経」と「副交感神経」の数値です。どちらも高いのですが、比べると、「副交感神経」のほうが少し高めに出ています。

これは、交感神経（緊張・頑張り）よりも、副交感神経（リラックス・排毒）のほうに重点を置いて働いてくれる、と考えられるパターンです。

私たちは緊張やストレスを身にまとって生活していますから、この特性は、ありがたいことではないでしょうか。

それに、リラックスや排毒は、長寿を目指す上でも、頼もしいサポート役となるにちがいありません。

